

東海畜産学会
平成20年度シンポジウムのお知らせ

本年度のシンポジウムを下記のテーマで行います。

東海畜産学会長 伊藤慎一

日 時：2008（平成20）年7月9日（水） 13:30～16:40
会 場：名古屋国際センター5階 第一会議室（84席）
交 通：JR名古屋駅から東へ，地下街を徒歩で7分
後 援：日本家禽学会

平成20年度シンポジウム：

テーマ『遺伝資源としてのニワトリ利活用の新展開
マーケットからバイオリソースまで』

- 13:30～13:40 テーマおよび座長の紹介（会長）
座長：森 誠（静岡大学農学部教授）
講演および講演者の紹介（座長）
- 13:40～14:40 特別講演：純国産鶏「さくら」「もみじ」の育種改良と
ブランド化
後藤悦男
（（株）後藤孵卵場取締役・相談役）
- 14:40～15:15 講演 - 1：産地ブランド化のための「新あすなる卵鶏」の開発と
利用事例
西藤克己
（前青森県農林総合研究センター畜産試験場研究調整監）
- 15:15～15:30 休憩
- 15:30～16:05 講演 - 2：熊本県における肉用鶏「天草大王」の展開と
ブランド化戦略
家入誠二
（熊本県農業研究センター畜産研究所中小家畜研究室長）
- 16:05～16:40 講演 - 3：鳥類遺伝資源の多様性維持・向上にむけて
島田清司
（名古屋大学大学院生命農学研究科附属鳥類バイオサイエンス
研究センター特任教授）

問合せ先：岐阜大学応用生物科学部

土井 守（東海畜産学会庶務幹事）

TEL: 058-293-2872, FAX: 058-293-2872

E-mail: doi@gifu-u.ac.jp